

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	霧島Wing		
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日		令和8年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和8年1月21日		令和8年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域のつながりと家族支援。	子供の様子を包括的に理解・サポートする為に、子供との日々の会話、保護者との面談に加え、園や学校の先生、地域の方との交流を密に行っている。	子供の発達に伴う環境の変化(就学、進学)は避けられないが、それに伴い子供の周囲のサポート体制変化していく。私共のような福祉施設は長くかかわれることが強みなので、今後も継続、維持していく。
2	感覚統合、運動訓練。	児童発達支援、放デイの多機能型で、継続的に子供の体の土台作りを意識し個に合わせた内容を設定し取り組んでいる。	運動プログラムの更新や、器具等の、子供達の土台作りをよりサポートしていけるように日々の環境の見直し、活動の見直しを行っていく。
3	適切な支援の提供。アンケートで多くの保護者に全項目に対して「はい」の返答を頂けた。保護者の理解度が高い。	子供の強みや苦手を職員間で密に話し、やり取りを行い支援にあたっている。保護者と現状のすり合わせ、実態に沿った支援になるように心掛けている。	継続と維持

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	フォーマルアセスメントの実施	フォーマルアセスメントの研修の機会が少なく、実施できる有資格者のスタッフがいないのが現状。	Wingにつながる前後は行政機関や病院などで、フォーマルアセスメントを行っているケースも多い。その理解を共有して支援に生かせるように体制を整える。
2	情報提供や研修会の実施回数	保護者、兄弟向けのイベント(講演会)を行ったが、参加された方には伝わったようだが、参加されなかった方には、行ったことさえ忘れていく現状。仕事の都合などで参加が難しい家庭も多かった。参加いただけた方には講評をいただいた。	実施回数を増やす。イベントや研修会の実施の方法を工夫しつつ日々の保護者と会話、連絡を大切にして支援していく。
3	家族支援(家庭で出来る親子のかかわり方の研修)	家族支援がその子に対する親の悩み相談等がメインなので、家庭で出来る親子のかかわり方の研修や情報提供を増やしていく。	例えばペアトレとは何か等、情報をわかりやすく簡潔にし、研修やイベント等にも参加しやすくする。家族の実態に沿った支援を話し合いながら提供していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 霧島Wing

公表日 令和8年 2月 28日

利用児童数

9名

回収数

9名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			1		ハローワークに求人申請中
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8			1		幼稚園との交流は行っているが、特段伝えていなかった。このような機会を設けたときは連絡帳に記入するようにする。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			2	研修会とか参加してみたいです。	研修の機会を増やします。案内を出しますので、ぜひご参加ください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9					
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1		3		直接お会いして話をしたり、LINEでの相談に対するの応答。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9						

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	担当者会議などで、説明周知するようにしていく。安心して頂くために、実施日等は発信するようにする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2	毎月行っているが、伝わっていない。安心して頂くために、実施日等は発信するようにする。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	1			善処します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1		Wingが楽しいみたいです。	楽しい事ばかりではないので、保護者に意図と意義をしっかりと伝えしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			言葉も増え、おうちの動きも活発です。	全員が「はい」だったので感謝しかありません。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	霧島Wing		公表日 令和8年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		設置基準以上のスペースを確保している。	活動内容を分けたり、ずらしたり工夫しながら限りあるスペースを有効利用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人数が多くなる日には、予定外でもパート職員に出勤してもらい、規定の人数を見れるようにしている。	職員を増やすべくハローワークに求人申請中
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚化の表示を作成して張り出している。カバンや持ち物を整理できるようにかご等を準備して工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		朝夕の清掃	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションの活用	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		OODAループを用いて決定したことを軸に、plan (計画) を立てて、Do (実行) するようにしている	観察力と状況判断の強化
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		イベントとの実施を行った。	年1回から回数を増やす。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議等で意見の確認を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者による外部評価は行っていない。	今後検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			職員を増やし、法人外研修に参加できるよう、ハローワークに申請中。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援計画を参照しながら作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		中間計画会議等で話し合い反映している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルアセスメントの機会は少ないが、外部の検査結果を活用、共有している。インフォーマルアセスメントは日々行われている。	各年齢に応じた発達段階を入れた独自のアセスメントシートを作成。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士中心で会議等で各個人の様子や課題等を別紙で見える化している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に見直しをしている。	個別の活動は、発達に合わせて日々内容を精査している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に確認し合っている。一人一人の課題を見える化しホワイトボードに張り出している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		タブレット入力で情報の共有をしている。指導後は話の時間を設けている。	時間の関係で、会議のような形になっていないが、振り返りにはなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		タブレット入力で情報の共有をし、次回の参考にしている。	当日の終了後に細かな振り返りは難しいが、次回の支援の参考にしている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		状況に応じて行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		選択の自立から意識して活動を主としている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		している。引き渡しの際に、情報を提供し、園生活で気になる点などを伝えて頂いている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携は出来ていると思う。	医療機関とのつながりが弱め。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		機会は少ないが、他の事業所との交流やケース会議等で情報を共有している。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		機会を設けている。地域の幼稚園との交流を行っている。	保育園との交流の場を考える。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEや電話、直接お会いしてお話したり、連絡帳を毎回記入している。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	講演会の企画はしたが、家族の研修までは至らない。	ペアトレの対象者は少ないが、その他の企画の回数を増やす。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		得ている。	児発管が状況に応じた対応をしている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		児発管が状況に応じた対応をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		している。	仕事等での保護者会の参加率を考えて機会は設けていない。兄弟の支援をしているところもあるが、全てではない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		手紙等で発信している(Wing便り)	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		している。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		LINEや電話、直接お会いしてお話したりしてフォローしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		Wing祭りの企画。地域の方も寄ってくれる。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練を行っている。	周知不足は否めない。担当者会議やモニタリングの際周知してみる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実施している。	備えについては、随時補充中
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬、てんかん発作無し	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーの報告なし	医師の指示書無し
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		施設内研修、訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			周知不足は否めない。担当者会議やモニタリングの際周知してみる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書の作成。報告	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		入所時、児発管から説明。了解を得ている。	